

# ROCKY ROOF CARRIER

## SAシリーズ 取扱い説明書

品番 / SA-01・02H・03・04H・05・05W・06H

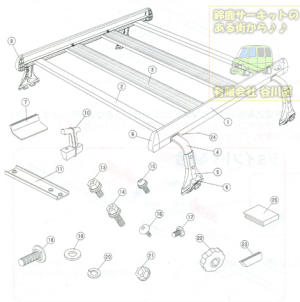
この度は、ロックーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。  
常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。  
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。  
誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。  
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。

### ご使用前に

- △ 警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。  
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。  
「例」 部品類の穴あけ加工  
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載  
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
- △ 警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △ 注意 ルーフキャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。  
ルーフキャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △ 注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。  
又、積載物がルーフキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量を前後均等で積載してください。  
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。
- △ 注意 ルーフキャリア装着で高速走行することにより、風の抵抗を受けて風切音が必ず発生します。  
耳障りな場合は、別売「ルーフデフレクター/DF-03/¥6,090(税込み)」をお勧めいたします。

### 構成パーツ

● 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	SA 01・02H 03・04H	SA 05・05W 06H
①	サイドフレーム	2	2
②	脚フレーム	2	2
③	デッキフレーム	2	3
④	脚ステー	4	4
⑤	インナークランプ	4	4
⑥	アウトクランプ	4	4
⑦	アウターバッシュン	8	8
⑧	先導キャップ(R)	2	2
⑨	先導キャップ(L)	2	2
⑩	中継ジョイント	2	2
⑪	プレートナット (2個のフレームに1個ずつ)	4	4
⑫	スリットナット (2個のフレームに1個ずつ)	4	6
⑬	六角角ボルトセットM6(短)	8	10
⑭	六角角ボルトセットM6(長) (2個のフレームに1個ずつ)	8	8
⑮	六角ネジセットM6	4	4
⑯	タッピングビス5ミリ	4	4
⑰	角板ボルトM6	8	8
⑱	角板ボルトM8	4	4
⑲	平座金M8	8	8
⑳	バネ座金M8	4	4
㉑	フランジナットM6	8	8
㉒	網付ノブ	4	4
㉓	インナー保護キャップ	8	8
㉔	黒チタニウム (2個のフレームに1個ずつ)	4	4
㉕	ゴムパッキン	8	12

# 組立て方法

- 1 ⑤インナーランプの下端に⑧インナー保護キャップをはめます。  
④脚ステーと⑤インナーランプを車のルーフの高さに合わせて  
⑦角根ボルトM6、⑨フランジナットM6にて締付けます。〔図-1〕

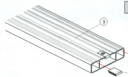
△注意 ⑨フランジナットの締め過ぎによる⑦角根ボルトの破損の恐れがある為、  
締付けには十分注意してください。

図-1

締め過ぎ  
注意

- 2 ③デッキフレームの両端上面に⑥ゴムパッキンををはめます。  
この時、⑥ゴムパッキンのペラが長い方を上にしてください。〔図-2〕

図-2



- 3 初めに①サイドフレームの片側に②脚フレームと③デッキフレームをまっすくに差込み、②脚フレームは  
裏から⑩丸ネジセットM6で締付け、③デッキフレームは⑬⑭六角ボルトセットM6にて締付けます。  
締付け後、反対側の①サイドフレームを被せるような感じで差込み、同様に⑬⑭のボルトでしっかりと締付けます。  
〔図-3〕

△注意 ③デッキフレームに組付けた⑥ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず取付けた状態で  
①サイドフレームに差込んでください。  
硬くて差込み難い場合は中性洗剤などを⑥ゴムパッキンに塗ってください。

図-3

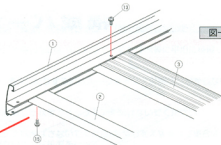
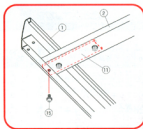
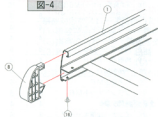


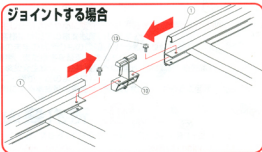
図-3

- 4 ①サイドフレームの先端に⑮⑯先端キャップを差込み⑰⑱タッピングビス5ミリでしっかりと固定します。〔図-4〕  
※2~3セットのジョイントする場合は片方の①サイドフレームの先端は⑲中間ジョイントに差し替え  
⑲⑱六角ボルトセットM6でしっかりと組付けます。(ジョイントする場合)

図-4



## ジョイントする場合



- 5 ②脚フレームに組付けてある⑭①六角ボルトセットM6を一度10ミリ程度ゆるめ、①Jで組立てた脚セットを差込み、④脚ステーがスライドする程度に仮締めします。(図-5)

△注意 車両にルーフキャリアを取付ける際に幅調整を行う為、必ずこの段階では④脚ステーがスライドする程度の仮締めにしてください。

一度ゆるめる

図-5

## 取付け方法

△注意 ルーフキャリアの取付け時は必ず2人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、ルーフキャリアの破損の防止になります。

- 1 先程組立てたルーフキャリアをルーフの雨ドイに載せます。荷台枠と④脚ステーの左右の間隔が均等になるように幅の調整を行います。(図-6) この時⑤インナークランプを雨ドイの内側に(ルーフ側)に寄せた状態にしておきます。(図-6-A) 間隔を調整後、⑭①六角ボルトM6をしっかりと締付けます。

左右の間隔を均等にする

図-6

図-6-A

内側に寄せる

- 2 ⑤インナークランプの角穴の裏から⑭角根ボルトM6を通し、⑥アウタークランプの下端に⑦アウターバックが組付けてある状態で雨ドイにかませ、⑧平座金M8、⑨バネ座金M8、⑩平座金M8、⑪締付ノブの順でしっかりと締付けます。締付けの際は⑤インナークランプを手前に引き寄せるような感じで締付けを行ってください。手前に引き寄せることによって④脚ステーに「ハリ」がでるルーフキャリアの強度が増します。(図-7)

図-7

手前に引き寄せる

手前に引き寄せる

雨ドイ

- 3 取付け終了後、ルーフキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 取付け初期段階はユルミが発生しますので必ず増し締めを行い、走行前には必ず各締付け部にユルミがないか点検してください。

# シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 取扱いを誤った場合に、死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。  
 △注意 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

## 積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。  
 使用状況によっては60kg未満でもルーフの変形及び、ルーフキャリアが破損する場合があります。  
 また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載ルーフキャリアです。次の物は積載しないでください。  
 [スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウインドサーフィン・ボール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は絶対に積載しないでください。  
 又積載物がルーフキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量を前後均等ではみ出すようにしてください。

品番	1セット	2セットジョイント	3セットジョイント
	(長さ) (幅) (高さ)	(長さ) (幅) (高さ)	(長さ) (幅) (高さ)
SA-01・02H	1545×800×600	2970×800×600	
SA-03・04H	1545×990×600	2970×990×600	4395×990×600
SA-05・06H	1845×990×600	3570×990×600	5295×990×600
SA-05W	1845×1140×600	3570×1140×600	5295×1140×600

(単位:mm)



## 取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。  
 →締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。
- △警告 ルーフキャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。
- △警告 走行中にルーフキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しルーフキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をルーフキャリアに固定する際は「脚部」を利用してロープ等で固定しないでください。  
 →脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。  
 →積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、ルーフキャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をルーフキャリアから載せたり、降ろしたりする際はルーフキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。  
 →強い衝撃(集中的荷重)がかかることによりルーフキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 ルーフキャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください  
 →バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 ルーフキャリア装着時にはラジオアンテナは伸ばさないでください。やむをえず伸ばす場合はルーフキャリアに当たらない所で留めるか、異音が出ないように注意して行ってください。  
 →アンテナがルーフキャリアに干渉し異音が発生します。
- △注意 ルーフキャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

### 事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
  - (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
  - (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
- (いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

株式会社 横山製作所 **ROCKY**

名古屋守山区川宮町190 TEL 052-794-1325 FAX 052-791-2403

<http://www.rocky.ne.jp> mail [rocky@rocky.ne.jp](mailto:rocky@rocky.ne.jp)